



2026年6月12日

各位

会社名 株式会社 ケア 2 1
代表者名 代表取締役社長 依田 雅
(コード：2373 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 業務統括本部長 山田 耕嗣
(TEL. 06 - 6456 - 5697)

2026年10月期第2四半期(中間期)累計期間の業績予想数値との差異 及び特別損失の計上、並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年12月12日に公表いたしました2026年10月期第2四半期(中間期)累計期間(2025年11月1日~2026年4月30日)の業績予想数値と、本日公表の実績に差異が生じました。また、当第2四半期(中間期)累計期間において特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

併せて、本日開催の取締役会において、2026年10月期通期業績予想の修正を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年10月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値と実績との差異について (2025年11月1日~2026年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 24,000	百万円 20	百万円 △200	百万円 △250	円 銭 △18.51
実 績 (B)	24,802	331	209	△313	△23.16
増 減 額 (B-A)	802	311	409	△63	
増 減 率 (%)	3.3	-	-	-	
(ご参考)前期中間期実績 (2025年10月期中間期)	23,613	△10	△155	△34	△2.53

2. 業績予想数値と実績との差異の理由及び特別損失計上の理由

売上高に関しては、介護事業を中心とした営業管理体制の強化により、主として施設系事業の稼働率が想定より向上したことにより増加となりました。営業利益及び経常利益は、売上高の増加が寄与したことに加えて、徹底したコスト管理により、予想値を上回って着地することになりました。

一方で、2026年5月20日に公表いたしました「介護付有料老人ホーム『プレゼンリユクス南青山』の閉鎖に関するお知らせ」に記載のとおり、同施設の閉鎖(2026年9月30日閉鎖予定)に伴う建物賃貸借契約の解約に伴う諸費用、ご入居者様の転居支援にかかる費用等の額を合理的に見積り、5億27百万円を特別損失として計上したことから、親会社株主に帰属する中間純利益が予想値より下回ることとなりました。

3. 2026年10月期連結業績予想の修正について
(2025年11月1日～2026年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 49,000	百万円 700	百万円 350	百万円 250	円 銭 18.51
今回修正予想 (B)	49,500	1,050	750	50	3.69
増減額 (B-A)	500	350	400	△200	
増減率 (%)	1.0	50.0	114.3	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年10月期)	48,158	784	543	384	28.45

4. 2026年10月期個別業績予想数値の修正について
(2025年11月1日～2026年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 45,500	百万円 200	百万円 150	円 銭 11.12
今回修正予想 (B)	46,000	550	0	0.01
増減額 (B-A)	500	350	△150	
増減率 (%)	1.1	175.0	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年10月期)	45,005	251	314	23.31

5. 業績予想修正の理由

通期業績予想につきましては、主力である介護事業は引き続き堅調に推移することを見込んでおりますが、2026年5月20日付「介護付有料老人ホーム『プレザンリュクス南青山』の閉鎖に関するお知らせ」にて公表した同施設の閉鎖に伴う売上高の減少影響を織り込んでおります。

一方で、継続的なコスト管理の効果により、経常利益は前回発表予想を上回る見込みです。また、第2四半期連結累計期間に計上した特別損失の影響を踏まえ、当期純利益は前回発表予想を下回る見通しとなりました。

以上の状況を踏まえ、通期連結業績予想及び通期個別業績予想を修正することといたしました。

※上記の業績予想については、現時点で入手可能な情報をもとに作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上